

第 1 回岡崎市都市計画マスタープラン住民説明会（中央地区） 議事要旨

日時	令和元年 10 月 27 日(日)16:00～16:50
場所	福祉会館 6 階ホール
参加者	16 名

1 開会

岡崎市都市計画課 鈴木係長の進行により開会

2 あいさつ

岡崎市都市計画課 新井課長から挨拶

3 岡崎市都市計画マスタープラン（全体構想まで）に関する説明

4 質疑応答

質問者 1	・全体構想を考えていくうえで、各項目のプライオリティや、どの項目にどの程度の予算が割り当てられているのか分からない。
岡崎市	・都市計画マスタープランで予算について記載するのは難しい
質問者 1	・都市計画マスタープランから具体案に移っていくといった全体の流れが見えてくると、無駄のない計画になると思う。
質問者 2	・都市づくりをしていくにあたって様々な項目があるが、これらを総括する部署はあるのか。
岡崎市	・資料 P. 1 の最初の部分に、都市計画マスタープランは「まちづくり・都市計画の方針づくり」を担うものとして、資料 P. 6 で具体的な事業に繋がるような考え方を示しており、これに関しての総括は都市計画課が担っている。
質問者 3	・岡崎市の具体的な問題が、都市計画マスタープランに記載されていないように思う。
岡崎市	・岡崎市の抱える課題については、資料 P. 4 の左の表に現況整理、課題等のキーワードとして掲げている。例えば人口だと岡崎市は増加傾向にあるが、長期的には人口減少が見込まれ、また市街地の中心部が将来的には減少していくといったことを記載している。製造業・商業についてはまだまだ元気であるといったことが挙げられる。災害は浸水想定区域や東部の山間部では土砂災害の危険性がある。また、2年に1度、市民意向調査を実施しており、渋滞対策、買い物利便性、駅周辺の利便施設の要望があった。
質問者 2	・もう少し踏み込んだ課題を記載していただきたい。
質問者 3	・前回の都市計画マスタープランの評価はどのようにされたのか。10年前の都市計画マスタープランと現状の差異との評価があれば示していただきたい。
岡崎市	・都市計画マスタープランを策定する中で、現行計画の施策を挙げて、その進捗

状況について担当各課に確認し整理している。その結果、およそ9割の事業で着手・整備済みであった。また、都市計画マスタープランとして対応しなければいけない想定外の課題が発生した際には、都市計画マスタープランの部分改定として一部内容を修正するといった対応をとっている。

- 質問者 4
岡崎市
- ・資料 P. 2 の人口の推移のグラフをどのように出したのか教えていただきたい。
 - ・人口の推移のグラフは、岡崎市の企画課が国勢調査を基にして推計をしており、自然増と社会増を考慮して算出している。
- 質問者 5
岡崎市
- ・資料 P. 2 の人口増減数の表をみると、市街地中心部での人口減少が進行しており、空き家の増加が心配される。空き家の対策等を都市計画マスタープランのような長期計画に織り込んでいただきたい。また、これから説明会をするときに、机の用意をしていただきたい。
 - ・会場の設営について、今後配慮させていただく。空き家対策については、資料 P. 6 の市街地整備の基本方針に「低未利用地の利活用の推進」の項目がある。この項目の中で空き家・空き地の有効活用の検討をしていきたいと考えている。
- 質問者 6
岡崎市
- ・資料 P. 2 の浸水想定区域図で、大洪水や堤防の決壊が起こった場合、この程度の被害で済むのか。
 - ・浸水想定区域図について、矢作川は 150 年に 1 度、乙川は 100 年に 1 度の規模の大雨に対する浸水想定となっている。岡崎市では、水害ガイドマップを作成しており、このマップの中では浸水深の他に流速が速い地域を掲載している。ハード対策だけでは対応しきれない災害もあるという認識のもとで、広く情報の周知や早期に避難できるようなアナウンスの実施に務めていく。

5 閉会

以上